



2025年2月5日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 太田 光治
(コード番号 6366 東証スタンダード市場)
問合せ先 主 計 部 長 木下 正賢
(TEL 045-225-7777)

業績予想の修正及び営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2024年7月29日に公表した2025年3月期の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせします。

また、2025年3月期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）において、営業外費用（為替差損及び持分法による投資損失）を計上しましたので、あわせてお知らせします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2025年3月期 通期連結業績予想数値（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益*
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	450,000	17,000	20,000	15,000	49.79
今回修正予想(B)	460,000	22,000	27,500	22,000	76.80
増 減 額(B-A)	10,000	5,000	7,500	7,000	-
増 減 率(%)	2.2	29.4	37.5	46.7	-
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	505,981	△15,006	△5,461	△15,831	△69.22

* 1株当たり当期純利益の算定にあたっては、A種優先株式発行の影響を加味しております。

(2) 通期連結業績予想修正の理由

売上高は、米国 Golden Pass LNG プロジェクト（GPX プロジェクト）につき、ジョイントベンチャーパートナーである米国 CB&I LLC および米国の当社グループ会社である Chiyoda International Corporation が見積もったコストをベースとした第1系列に係る EPC 契約の改定を、顧客である Golden Pass LNG Terminal LLC と合意したことに加え、上期の海外完工済み案件での追加収益の計上、他国内外の進行中案件の着実な進捗等により増加する見込みです。営業利益以下は、売上高の増加要因に加え、資産効率の向上等により期初予想を上回る見込みです。

これらを踏まえ、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の通期連結業績予想を上方修正いたします。

一方、GPXプロジェクトについては、残る第2系列および第3系列のEPC契約の改定に向けて、引き続き顧客との協議が継続していることから、第2系列および第3系列について顧客と合意した場合の影響は含まない前提で合理的に算出した数値です。今後、係る影響を反映した損益算定が可能となった段階で、業績予想の開示基準に基づき、その修正を実施し、速やかに公表いたします。

2. 営業外費用（為替差損）の計上

2025年3月期第3四半期連結累計期間において、2,565百万円の為替差損を営業外費用に計上いたしました。当社連結財務諸表における外貨建て債権残高と債務残高に大きな差は存在しておらず、その他の包括利益の増減に反映される部分まで勘案すると、当社の本質的な企業価値を損なうものではありません。

尚、本営業外費用につきましては上記業績予想に反映しております。

3. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上

2025年3月期第3四半期連結累計期間において、国内関連会社に係る212百万円の持分法による投資損失を営業外費用に計上いたしました。

尚、本営業外費用につきましては上記業績予想に反映しております。

(注)見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。従いまして、これらの見通しのみにより、依拠した判断をされることは控えるようお願いいたします。

以 上